

# Hands Off!説明書

## Hands Off!を使って何ができる？

Hands Off!はコンピュータにインストールされているアプリケーションを監視して、ネットワーク接続、インターネット接続、ファイルの書き込みなどを報告します。アプリケーションがネットワーク接続またはディスクにデータを書き込もうとするとHands Off!が通知を表示して、そのアクションを許可するか拒否するかユーザーに訪ねます。アプリケーションのデータ送信と書き込みをコントロールできるので、大事なデータの漏れと外部からのウイルスの入り込みを防げます。監視するアプリケーションと監視のレベルを細かく設定できます。信用できるアプリケーションを監視しないで、新しくインストールしたアプリケーションのみを監視するようにもできます。

## Hands Off!のインストール

Hands Off!アプリケーションを「アプリケーション」フォルダに移して下さい。「Hands Off!」アイコンをダブルクリックします。インストール画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックするとインストールされます。

## Hands Off!の起動

「アプリケーション」フォルダにある「Hands Off!」アイコンをダブルクリックします。初めて起動するときに、体験版の画面が表示され、3つのボタンが表示されます。

「ご購入」：購入ページに接続されます。

「登録」：シリアル番号を入力する画面が表示されます。

「試用」：体験版を試用できます。

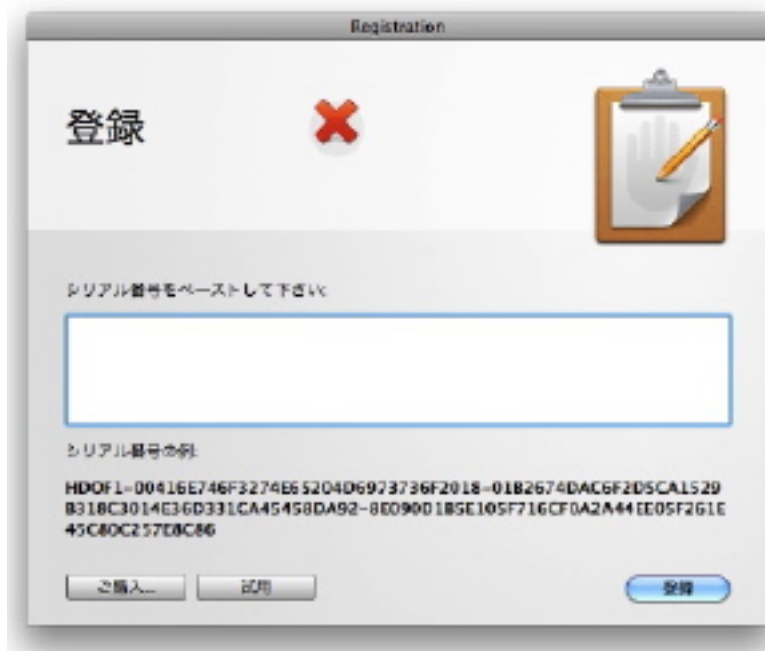
## 体験版について

体験版は製品版と同じ機能を持っていますが、4時間ごとに5分間自動的に監視を停止します。体験版を製品版にするシリアル番号は下記のURLにてご購入できます。

<http://www.infinisys.co.jp/product/handsoff/index.shtml>

## シリアル番号の入力

「Hands Off!」メニューの「登録」を選ぶと「登録」画面が表示されます。



ご購入後、メールで届いたシリアル番号を入力して、「登録」をクリックします。体験版が製品版に変わります。体験版を使う場合は「試用」をクリックして下さい。体験版が起動します。

「ご購入」をクリックすると購入ページに接続されます。

## バージョン確認

Hands Off!が最初に起動するとき、下記の画面が表示される場合があります。



「Check Automatically」をクリックするとHands Off!が起動する度に新バージョンがあるかどうかをインターネットを通して確認します。

「Don't Check」をクリックすると確認しません。バージョンの確認はいつでもアップルメニューの「バージョン確認」を選んで行えます。

# プリセットのを設定

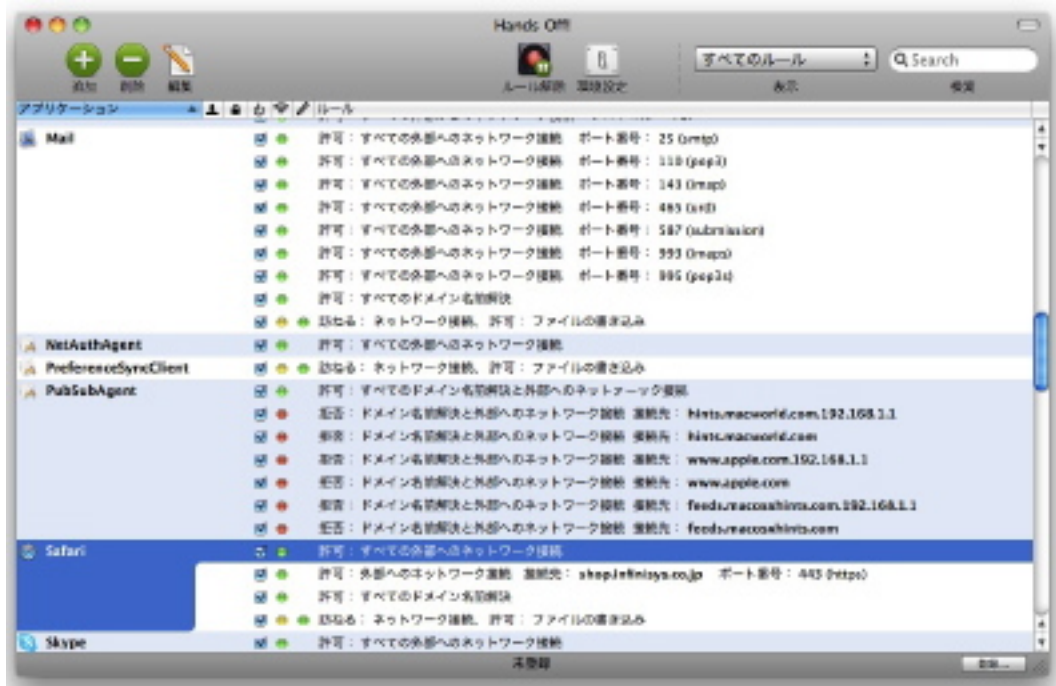
Hands Off!が最初に起動するとき、下記の画面が表示されます。



初期設定のプリセットを選んで「完了」をクリックして下さい。最初は「簡単」を選ぶことをお勧めします。

開発元のサイトのヘルプ画面（英語）が表示されます。「ルール」ウインドウ（下記を参照）も表示されます。

## 「ルール」ウインドウ



このウインドウでルールを追加、削除、編集と確認ができます。



「追加」：新しいルールを追加する（下記の「ルール作成／編集」を参照して下さい）



「削除」：ルールを削除する



「編集」：選択されているルールを編集



「ルールをオン／オフする」：ルールを適用するか適用しないか切り替える。現在のユーザーのすべてのルールをオフにする（グローバルルールには影響しません。）



「環境設定」：環境設定ウインドウを隠す／表示

「表示」：表示されるルールの種類を設定する


「検索」：「アプリケーション」と「ルール」列で単語を検索できる

※編集できないルールがあります。このルールを使いたくない場合は「オフ」にしてください。


## ルールのリスト

「ルール」ウインドウにルールのリストが表示されます。リストに下記の列があります。

### 「アプリケーション」

ルールが適用されるアプリケーションの名前とアイコンが表示されます。アプリケーションが元の場所でない場合、が表示されます。

### ユーザー

コンピュータのすべてのユーザーにルールが適用される場合はが表示されます。現在のユーザーのみに適用される場合は何も表示されません。

### オン

ルールがオンになっているとき、このチェックボックスにチェックが付いています。

### ネットワーク

- ：一部のネットワークオペレーションが許可されている。
- ：一部のネットワークオペレーションが拒否されている。
- ：一部のネットワークオペレーションの場合、通知が表示される。

何も表示されていない場合はルールはネットワークオペレーションに影響を与えません。

## 📁 ファイル

- ：一部のファイルオペレーションが許可されている。
- ：一部のファイルオペレーションが拒否されている。
- ：一部のファイルオペレーションの場合、通知が表示される。

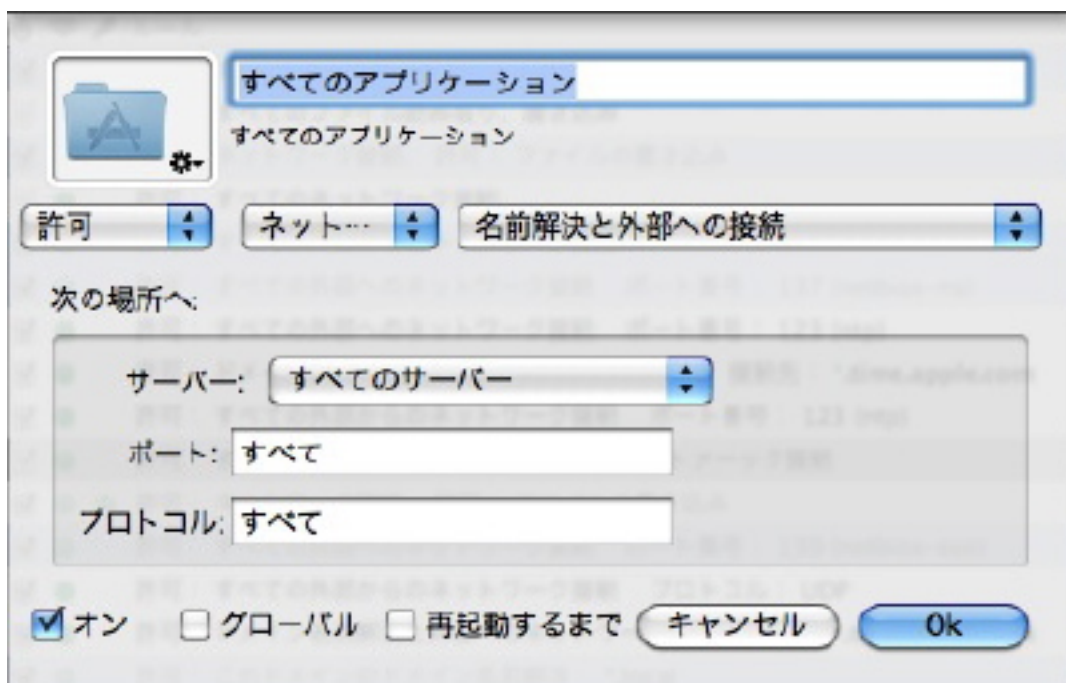
何も表示されていない場合はルールはファイルオペレーションに影響を与えません。

## ルール


ルールの説明が表示されます。ルールがオフになっている場合は、このテキストがグレーになっています。

## ルール作成／編集

ルールの追加ボタンまたはリストに表示されているルールをダブルクリックするとルール編集ウィンドウが表示されます。



左上のアイコンをクリックして、ルールの対象になるアプリケーションを設定します。（すでに存在しているルールを編集する場合、左上にアプリケーションのアイ

コンが表示されています。アプリケーションが元の場所がない場合、が表示されます。アプリケーションの名前の下にアプリケーションのパスが表示されます。) 上のテキストボックスにパスを入れることもできます。

プルダウンメニューを使ってルールの変換ができます。一番左のメニューから「アクション」（許可、拒否など）を設定します。このメニューの「プリセット」を選ぶと、アプリケーションのプリセット（初期設定）を設定できます。

## ネットワークルールの設定

サーバー：ホスト名またはIPアドレス（IPアドレスの範囲も指定できる。例：192.168.1.0/24）

ポート：番号またはhttpなどのサービス名

プロトコル：番号またはTCPなどのプロトコル名

## ファイルルールの設定

パス：適用されるファイルまたはパス

サブフォルダに適用（フォルダのみ）：フォルダのサブフォルダにもルールを適用する。

## ウィンドウのチェックボックス

オン：チェックされている場合はルールがオンになっている。

グローバル：チェックされている場合はルールはすべてのユーザーに適用される。

再起動まで：チェックされている場合はルールは再起動まで適用される。

終了まで：チェックされている場合はルールはアプリケーションが終了するまで適用される。

## ワイルドカード

IPアドレス、URL、パスなどにワイルドカード（\*）が使えます。

例えば、.comで終わるすべてのサイトをブロックしたい場合、「Safari」に下記のようなルールを付けます。

- 1) 左のプルダウンメニューを「拒否」に設定します。
- 2) 真ん中のメニューを「ネットワーク」に設定します。
- 3) 右のメニューを「外部への接続」に設定します。
- 4) 「サーバー」メニューから「ホスト名」を選んでメニューの下にあるテキストボックスに「\*.com」を入れます。

5) 「OK」をクリックします。

新しく作成したルールがルールウィンドウに表示されています。「オン」になっていることを確認して下さい。このルールが「オン」になっているとき、.comで終わるすべてのサイトがSafariで表示されないようになります。

また、複数のアプリケーションに同じルールを適用したい場合は、アプリケーションを一つのフォルダに集めて、下記のパスをウィンドウの上のテキストボックスに入れると、フォルダに入っているすべてのアプリケーションにルールが適用されます。

フォルダのパス/\*

## 通知

「Hands Off!」メニューの「環境設定」を選んで、「通知」をクリックすると下記の画面が表示されます。



あなたのコンピュータを守るために「Hands Off!」は起動しているアプリケーション

ンを常に監視しています。アプリケーションがルールに定義されていないことをやろうとすると「Hands Off!」は通知を表示します。通知にアプリケーションがやろうとしているオペレーションの詳細が表示され、それを許可するかどうか判断できます。許可するまでオペレーションは実行されません。

通知は二つの種類があります：プリセットとオペレーション。プリセット通知を使って、アプリケーションにデフォルトセキュリティプリセットを付けられます。オペレーション通知はルールで定義されていないオペレーションが実行される時に表示され、そのオペレーションを許可するかどうか指定できます。

## プリセット通知

プリセットは各アプリケーションのセキュリティポリシーを定義します。プリセットが定義されていないアプリケーションを起動させるとき、または、許可されていないことをやろうとすると、プリセット通知が表示されます。



ネットワーク利用とファイルの書き込みのポリシーを定義する必要があります。

### ポリシーの選択肢

許可：アプリケーションのすべてのオペレーションを許可する。通知は表示されません。

拒否：アプリケーションのすべてのオペレーションを拒否する。通知は表示されません。

訪ねる：アプリケーションがルールに定義されていないオペレーションをやろうとすると、通知が表示される。



仮のフォルダで常に許可：仮のフォルダに書き込みする場合は許可するが、他のフォルダに書き込もうとするときは定義されている書き込みポリシーが適用される。

※この設定は通知を起こしたアプリケーションのみに適用される。

セキュリティを守りながら通知の数を最低限に押さえるため、Hands Off!に安全なデフォルトプリセットが付いています。通知に「デフォルトルールを使用」のチェックボックスがある場合、そのアプリケーションのデフォルトルールがすでに定義されていますので、このチェックボックスにチェックが付いていれば、安全にご利用できます。

## オペレーション通知

アプリケーションがルールが定義されていないオペレーションをやるうとするとオペレーション通知が表示されます。



Hands Off!は次のオペレーションを監視します：ファイルの書き込み／読み取り、ドメインの名前解決、ネットワークの外部への接続と外部からの接続  
※通知の「虫眼鏡」をクリックするとさらに詳しい情報が表示されます。

すべてのオペレーションに関しては、ルールの有効期間の設定ができます。

「永遠に」：オペレーションをいつも拒否／許可する。

「終了まで」：アプリケーションが終了するまでオペレーションを拒否／許可する。

「再起動まで」：コンピュータが再起動するまでオペレーションを拒否／許可する。

「一回」：一回だけオペレーションを拒否／許可する。

オペレーションによって他の設定もできる場合があります。

ファイルの書き込み／読み取りに関して下記の設定ができます。

「すべての読み取り」：すべてのフォルダとファイルに適用される。

「すべての書き込み」：すべてのフォルダとファイルに適用される。

「親フォルダとサブフォルダのみ」：現在のファイル/フォルダのフォルダとそのサブフォルダのみに適用される。

「このフォルダとサブフォルダのみ」（フォルダのみ）：現在のフォルダとそのサブフォルダのみに適用される。

「親フォルダのみ」（ファイルのみ）：現在のファイルのフォルダの中身のみに適用される。

「このフォルダのみ」（フォルダのみ）：現在のフォルダのみに適用される。

「このファイルのみ」（ファイルのみ）：現在のファイルのみに適用される。

ドメインの名前解決に関して下記の設定ができます。

「すべてのドメインの名前解決」：すべてのドメインの名前解決に適用される。

「すべてのドメインの名前解決と外部への接続」：すべてのドメインの名前解決とそれ以降の外部への接続に適用される。

「<ドメイン名>のみ」：指定されたドメインのみに適用される。

「<ドメイン名>と外部への接続のみ」：指定されたドメインの名前解決とそれ以降の外部への接続に適用される。

※ドメインの名前解決はドメイン名（例えばwww.infinisys.co.jp）をIPアドレス（例えば192.168.1.1）に交換することです。情報の漏れを防ぐために、こういうオペレーションを監視することが大事です。

ネットワークの外部への接続と外部からの接続に関して下記の設定ができます。

「すべての外部からの接続」：すべての外部からの接続に適用される。

「すべての外部への接続」：すべての外部への接続に適用される。

「<ポート>のみ」：指定したポートのみの接続に適用される。

「<プロトコル>のみ」：指定したプロトコルのみの接続に適用される。

「<ドメイン名またはIPアドレス>のみ」：指定したドメイン名またはIPアドレスのみの接続に適用される。

「<ドメイン名またはIPアドレス>と<プロトコル>のみ」：指定したプロトコルを使って、指定したドメイン名またはIPアドレスのみの接続に適用される。

選択しましたら、「拒否」または「許可」ボタンをクリックします。

## キーボードのショートカット

矢印のキーを使って操作できます。さらに次のショートカットが使えます。

return --> 許可

esc --> 拒否

(環境設定でこのショートカットをオフにできます。)

## 通知の設定

### アプリケーションのデフォルトセキュリティプリセットがない場合:

プリセットを要求：プリセットが必要になる場合、通知が表示され、プリセットを選べる。

このプリセットを利用：通知は表示されなく、環境設定で指定したプリセットが適用される。

### 通知のルール有効期間デフォルト設定:

通知に表示されるルール有効期間（永遠に、終了までなど）のデフォルトを設定できる。

### システムプロセスのネットワーク接続を監視：

これをチェックするとシステムプロセスのネットワーク接続が起こるたびに通知が表示される。（ユーザーに管理者権限ある場合のみに表示されます。管理者以外のユーザーはこの設定を使えません。）

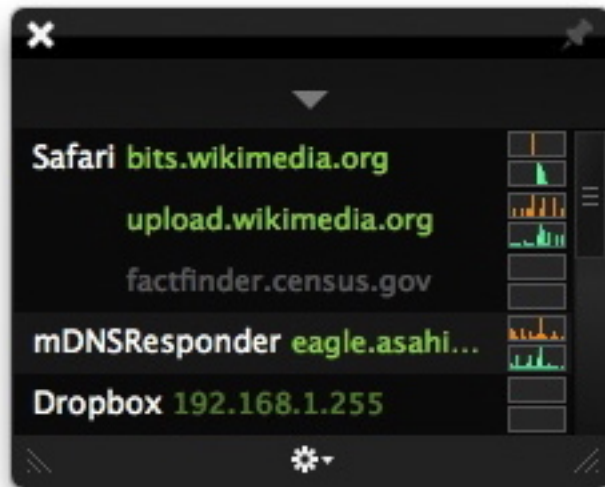
### バックグラウンドプロセスのネットワークプロセスを監視する：

これをチェックされていないままにするとユーザーバックグラウンドプロセスとプリセットが設定されていないフォアグラウンドアプリケーションは無視されますので通知が出る回数が少なくなります。

### return/escのキーボードショートカットを使う：

このチェックを外すと上記のreturn/escキーボードショートカットが使えなくなる。（これをオフにしても ⌘-Return と ⌘-Returnが代わりに使えます。）

## 「モニタ」 ウィンドウ



モニタウィンドウに各アプリケーションのネットワークとインターネット接続がリアルタイムで表示されます。これですべてのアプリケーションのネットワークオペレーションを把握できます。

### モニタウィンドウを表示させる

「Hands Off!」メニューの「環境設定」を選んで、モニタをクリックします。  
「ネットワークモニタをオンにする」をクリックします。